

埋文やまがた



2005年6月30日
第32号



本物に会える

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

平成17年度の事業概要

土佐県立歴史館の事業概要

1 発掘調査事業

No.	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間
1	亀ヶ崎城跡(第5次)	酒田市	中・近世	城館跡	4/18~9/30
2	木の下館跡(第2次)	鶴岡市	中世	集落跡	10/3~12/22
3	興屋川原遺跡(第2次)	鶴岡市	古墳~平安	集落跡	6/15~9/30
4	行司免遺跡(第2次)	鶴岡市	平安	集落跡	8/15~10/21
5	万治ヶ沢遺跡(第2次)	鶴岡市	縄文・平安	集落跡	5/9~8/5
6	玉作2遺跡	鶴岡市	平安	集落跡	5/9~6/17
7	高瀬山遺跡(HO 2期)	寒河江市	旧石器~中世	集落跡	4/25~7/14
8	川前2遺跡(第3次)	中山町	古墳	集落跡	8/8~11/15
9	上敷免遺跡	山形市	奈良・平安	集落跡	5/9~7/29
10	北向遺跡(第2次)	山形市	奈良・平安	集落跡	8/22~10/26
11	上ノ山館跡	上山市	中世	城館跡	5/17~11/28
12	中山城跡	上山市	中・近世	城館跡	5/11~11/21
13	上野遺跡	南陽市	縄文	集落跡	5/23~8/5
14	百刈田遺跡(第3次)	南陽市	奈良・平安	集落跡	5/16~9/16
15	庚壇遺跡	南陽市	縄文・平安	集落跡	5/11~11/1
16	中落合遺跡	南陽市	平安	集落跡	6/1~11/18
17	蛇崩窯跡	長井市	奈良・平安	生産跡	6/28~8/12
18	大在家遺跡	高畠町	飛鳥~平安・中近世	集落跡	5/16~10/28
19	稻荷山館跡	米沢市	中世	城館跡	8/22~10/7
20	堤屋敷遺跡	米沢市	中世	城館跡	10/11~12/2

今年度は、国土交通省・日本道路公団・県農林水産部・県土木部・県教育委員会からの委託を受け、20件の発掘調査を実施しています。

また、12遺跡の整理・報告書作成も行っています。

No.	遺跡名	市町村	業務内容
1	小反遺跡	鮭川村	報告書作成・刊行
2	上野遺跡	鮭川村	報告書作成・刊行
3	梅野木前1遺跡	山形市	報告書作成
4	北向遺跡	山形市	報告書刊行
5	川前2遺跡	中山町	報告書作成
6	鶴の木館跡	南陽市	報告書作成・刊行
7	坂ノ上遺跡	山形市	報告書刊行
8	長者原遺跡	山形市	報告書刊行
9	小松原窯跡	山形市	報告書刊行
10	梓山a遺跡	米沢市	報告書作成・刊行
11	梓山d遺跡	米沢市	報告書作成・刊行
12	町在家館跡	米沢市	報告書作成・刊行



2 研究・普及事業

埋蔵文化財に関する研究と保護思想の普及を目的とした活動を行います。

(1) 調査説明会

発掘調査の成果を広く公開するために、調査を行った遺跡について現地で説明会を開きます。あわせて出土した遺物の展示も行います。

開催日時などは、センターのホームページのほか、新聞・市町村広報誌などでお知らせします。



16年度に調査した太郎水野2遺跡の現地説明会



16年度の発掘調査報告会



(2) 発掘調査報告会

12月23日(祝)、山形市のビッグウイングにおいて、17年度の発掘調査報告会を開催します。

県内で行われた今年度の発掘調査の成果を、写真などの映像を使い報告します。出土した遺物の展示も行います。

(3) 広報誌・年報の発行

広報誌「埋文やまがた」を年3回刊行し、県内の学校と公民館・図書館などに配布しています。

また、センターの一年間の活動概要をまとめた「年報」を年度の初めに刊行します。

(4) 調査報告書の刊行

調査・整理が終了した遺跡の報告書を順次刊行します。

(5) 研究紀要の刊行

今年度は、第4号を刊行します。

(6) 出土文化財の保護と活用

センターでは出土した文化財を活用するため、次のようなことを行っています。

◇ 小・中・高校などにセンター職員を派遣し、歴史学習や総合的な学習を支援する出前授業

◇ 出土した文化財や、写真等記録類の貸し出し

また、特別収蔵室(県内各地から出土した遺物の展示室)や整理作業(遺物を接合するなどの作業)を見学することができます。



発掘調査の体験



出前授業の様子

※これらの詳細については、センターまでお問い合わせください。

本物に会える

山形県埋蔵文化財センターが行った発掘調査で出土した遺物を展示しているところを紹介します。

山形県総合交通安全センター

(天童市)

「古墳時代のムラがあった」

平成17年に山形県総合交通安全センターが開設されました。建設に当たってその場所にある高擲南遺跡^{たかだまみなみ}の発掘調査が行われました。古墳時代の集落跡が姿を現し、多くの遺物が出土しました。復元した土器など主なものを交通安全センターロビーに展示しています。



展示ケースには、高擲南遺跡から出土した古墳時代の甕や壺^{つぼ}、高坏^{たかひつき}などが飾られ、発掘調査の様子を伝える写真パネルも展示されています。ぜひご覧あれ。



古墳時代の人々が使った農耕具もあります。これは、木製の横鍬^{よこくわ}です。とてもめずらしいものです。



鮭川村中央公民館

「鮭川村小反遺跡出土複式炉の復元」



小反遺跡で発見された複式炉（約4000年前）。
当時は「いろり」として使ったと考えられます。



土器複製は東北芸術工科大学歴史遺産学科の協力を得ました。



土器は2個、石は191個を積み上げます。残り60個です。



石組みを正確に再現するため、ひとつひとつ位置と高さを測りながら配置しました。



復元にたずさわったみなさん

平成16年に山形県埋蔵文化財センターでは鮭川村小反遺跡の発掘調査を行いました。縄文時代中期の集落跡が姿を現し、複式炉を持った竪穴住居跡が見つかりました。

鮭川村教育委員会では山形県埋蔵文化財センターの協力を得て貴重な文化財の保存を企画し、中央公民館ロビーに複式炉を復元展示することになりました。昨年度から始まった作業も6月に終わり、すばらしい複式炉が復元できました。

たくさんの方々に見ていただき、ふる里の歴史に興味をもっていただければと思っています。



鮭川村中央公民館一階ロビーに復元した複式炉です。土器は複製、石と土は本物を使用しました。左上の写真と見比べてください。

山形県埋蔵文化財センター

エントランス
展示施設

縄文のビーナスが
お出迎え



センター正面玄関に、これまでの発掘調査で出土したもののなかから、選りすぐりの逸品を展示するコーナーが新設されました。時代ごとに陳列していますが、中央に置かれた西ノ前遺跡出土の土偶「縄文のビーナス」は、一際輝いて皆様をお待ちしております。



特別収蔵室

「県内出土の文化財を間近に！」

昭和48年以降の出土品で、山形県を代表する重要な遺物を展示しています。祖先が残した品々は、歴史を理解する上で一見の価値があります。

見学の折には、専門のセンター職員が丁寧に説明してくれます。



わたしたちも待っています。おいでよ
(縄文人・イノシシ・シカ)



大甕発見 びっくりするぞ！

秘宝館

ちゅう こう 注口土器

最上町・かっぱ遺跡



今日の急須に似た細い管状の注ぎ口を持つ土器を、「注口土器」と呼んでいます。縄文時代中期の後半から見られるようになります。注口土器は液体状の物質を注ぐ目的に使用されますが、その精巧な作りからは、お祭り用など非日常的な器と考えられています。

今回は縄文時代晩期、弥生土器へ移り変わる直前の注口土器を取り上げましたが、今回ご紹介するのはそれより1,000年程古い、縄文時代後期中頃（約3,500年前）の作品です。完全な形で出土した優品で、最上町にある後期の拠点的な集落跡、「かっぱ遺跡」の竪穴住居跡から出土しました。

上向きに取り付けられた長い注ぎ口が特徴的で、ゾウが鼻を振り上げたような形状をしています。横から見た器の形はソロバン玉に似ており、上半部に文様が施されています。真上から見ると円形をしています。円を三分割して文様を割り付けています。最初は上半全面に縄文を付けた後、区画ごとにヘラ先で鳥の翼状の文様帯を描き、その内部と区画周囲を磨き上げます。このように、縄文を消すことによって文様を強調させる手法を「磨消縄文」と呼んでいます。

縄文時代後・晩期には器の種類が豊富になりますが、これは場面に応じて土器が使い分けられていたためと考えられています。縄文時代の最初の注口土器は、深鉢に注ぎ口を付けたものから始まり、やがて壺形へと変化していきます。かっぱ遺跡の注口土器はその境目の時期にあたり、器の形の変化を示す貴重な資料です。（水戸部秀樹）

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301 (代表)

編集後記

今号では、これまでの発掘調査で出土した貴重な遺物を、気軽に見学いただける展示施設をいくつかご紹介しました。いずれも無料で「本物」をご覧いただけますので、訪ねてみてください。